

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-517575 (P2005-517575A)
【公表日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)
【年通号数】公開・登録公報 2005-023
【出願番号】特願 2003-567740 (P2003-567740)
【国際特許分類第 7 版】

B 6 3 C 9/18

【F I】

B 6 3 C 9/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 29 日 (2004.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人に着用されるようになっている浮上装置において、前記浮上装置は、固体よりのガス発生手段により発生されたガスによって膨張するようになった少なくとも 1 個の膨張式部材を含んでいると共に、その膨張を成し遂げる手段を有することを特徴とする浮上装置。

【請求項 2】

前記ガス発生手段は、固体推進剤への点火によりガスが発生し、当該点火はトリガ手段によって始動されるといったものである請求項 1 に記載の浮上装置。

【請求項 3】

前記トリガ手段は、前記浮上装置中のバッテリーデバイスに、前記固体推進剤への点火をさせる請求項 2 に記載の浮上装置。

【請求項 4】

前記浮上装置は、少なくとも 1 個の膨張式部材と、ガス発生手段と、該膨張式部材が浮上装置との繋がりを保ちつつ、該浮上装置から幾つかの膨張式部材を実質的に解放するための解放手段とを実質的に包含する本体を有する請求項 2 または 3 に記載の浮上装置。

【請求項 5】

前記浮上装置は、人の手首の周囲に着用される請求項 4 に記載の浮上装置。

【請求項 6】

前記浮上装置は、コンパクトであり、腕時計に類似した寸法である請求項 5 に記載の浮上装置。

【請求項 7】

前記浮上装置のガス発生トリガ手段は、取り外し可能な保護キャップを包含し、該取り外し可能な保護キャップは、柔軟性ボタンデバイスを覆っており、該柔軟性ボタンデバイスは、バッテリー保持容器に密閉嵌合しており、当該作動段取りは、ボタンデバイスとバッテリーとの間の接触が膨張式部材の膨張を開始するといったものである請求項 3 乃至 6 のいずれか 1 つに記載の浮上装置。

【請求項 8】

2 個の膨張式部材が有り、各膨張式部材は、略球状を呈すると共に、前記ガス発生トリガ手段の各々の側に位置している請求項 7 に記載の浮上装置。

【請求項 9】

前記ボタンと前記バッテリーとの間の接触は、静水圧の手段により成し遂げられる請求項 7 に記載の浮上装置。

【請求項 10】

前記浮上装置は、雪崩のような状況下に提供されるのに適している請求項 4 に記載の浮上装置。

【請求項 11】

実質上、添付図面に関連して述べられたものであることを特徴とする浮上装置。

【請求項 12】

2 個の膨張式部材を有する請求項 1 に記載の浮上装置。

【請求項 13】

各前記膨張式部材は、膨張時に、丸い突出部となる請求項 12 に記載の浮上装置。

【請求項 14】

各前記膨張式部材は、膨張時に、球体となる請求項 13 に記載の浮上装置。

【請求項 15】

各前記膨張式部材は、膨張時に、略球状である請求項 13 に記載の浮上装置。

【請求項 16】

前記膨張式部材は、膨張時に、互いに略反対方向に拡がる請求項 12 に記載の浮上装置

。

【請求項 17】

前記トリガ手段は、駆動スイッチと、該スイッチを取り外し可能に覆うカバーとを包含し、前記スイッチは、前記カバーを取り外すことによって操作可能である請求項 3 乃至 6 のいずれか 1 つに記載の浮上装置。